今井小だより

横浜市立今井小学校
令和８年１０月３０日
学校だより　１１月号

学校教育目標　：　か　が　や　い　て　い　る　子　　「自分大好き！今井大好き！」

全力で取り組む姿が輝いた運動会

校長　　髙嶋　　聡

雨天のため延期となり、天候の不安もある中でしたが、多くの保護者や地域の皆様に見守られながら、今年度の今リンピックを無事に終えることができました。子どもたちへの温かいご声援や励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

運動会当日、子どもたちはそれぞれの学年らしさを存分に発揮し、一人一人が輝く姿を見せてくれました。

高学年のソーラン節では、一つ一つの動きを丁寧に、そして力強く表現しようとする真剣な姿が印象的でした。掛け声や動きをそろえることは簡単ではありませんが、仲間と心を合わせ、よりよい演技をつくり上げようと努力してきたことが伝わってきました。その堂々とした姿からは、学校のリーダーとしての頼もしさも感じられました。

中学年の競技では、最後まであきらめずに全力で取り組む姿が見られました。思うようにいかない場面があっても、自分のできることを精いっぱいやり切ろうとする姿や、仲間に声をかけながら頑張る姿に、心を打たれました。勝敗だけではない、一生懸命取り組むことの大切さを改めて感じさせてくれました。

低学年の子どもたちは、音楽に合わせて元気いっぱいに踊り、かわいらしく動物の動きを表現していました。会場中を笑顔にするような伸び伸びとした姿はもちろん、一つ一つの動きを覚えようと練習を重ねてきた努力も感じられました。楽しみながらも精いっぱい取り組む姿に、大きな成長を感じました。

水曜日に延期となった徒競走でも力いっぱい走り抜ける子どもたちの姿に感動しました。

運動会は、当日の演技や競技だけでつくられるものではありません。子どもたちは本番までの練習の中で、思うようにできず悩んだり、友達と励まし合ったりしながら、一歩一歩成長してきました。そして本番では、それまで積み重ねてきた努力を精いっぱい発揮しようとする姿を見せてくれました。

私は、子どもたちが運動会を通して得た最も大きなものは、「努力は自分を成長させる」という実感ではないかと思います。最初はできなかったことができるようになる喜び、仲間と力を合わせて一つのものをつくり上げる達成感、最後までやり切ったという満足感。こうした経験は、目に見える賞や順位以上に大切な財産です。

これからの学校生活の中でも、学習や行事、係活動など様々な場面で、自分なりの目標に向かって挑戦する機会があります。うまくいくことばかりではありません。しかし、運動会で経験したように、粘り強く努力を続けることで見える景色があります。そして、その努力は必ず自分の力となり、自信となって次の一歩を支えてくれます。

子どもたちには、運動会で得た自信や仲間とのつながりを大切にしながら、「まずやってみよう」「最後まで頑張ってみよう」という気持ちをこれからも持ち続けてほしいと思います。一つ一つの経験を積み重ねながら、それぞれのよさを伸ばし、さらに大きく成長していくことを期待しています。

運動会終了後には、多くの保護者の皆様に片付けのお手伝いをいただきました。おかげさまで短時間で作業を終えることができ、学校を支えてくださる皆様の温かさを改めて感じました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

運動会で見せてくれた子どもたちの真剣な表情や輝く笑顔は、私たちに大きな感動を与えてくれました。この経験を糧に、これからも子どもたち一人一人が自分のよさを伸ばしながら、大きく成長していくことを願っています。今後とも、本校の教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。